

令和6年（2024年）度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：長野県伊那市

協定締結日：平成28年12月27日

活動状況：継続中

連携先窓口：伊那市役所、JA伊那、伊那森林組合

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：森林総合科学科

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：上原 巖（森林） 入江 彰昭（地域創成）

活動目的：伊那市の農林業の振興

活動内容・成果：現地における森林調査および製品開発の支援

課題・改善点：2024年度は、地域の方々との森林の現地定期調査を複数回おこない、今後の持続的な森林保全および製品生産の指針、目安を再確認した。

これまで造林学研究室の学生を引率して森林調査を行ってきたが、本年度からは、大学院生が地域校の長野県立高遠高等学校を定期的に調査研究で訪問するようになり、同高の学校林の調査も始めることができた。

また、ここまで、アカマツを活用した松葉サイダー、松葉茶、松葉クリーム、薬用樹木のクロモジの葉を利用したクロモジ塩などを実現化し、松葉サイダーは、2023年より伊那市のふるさと納税の一品にも選定されている。これらをふまえて、2024年には農大において伊那市を含む地域連携のシンポジウムも開催された。

課題、改善点は、地域における人材の不足である。常駐的に森林の林産物生産に従事できる人材が、他地域同様に求められている。

2024 年度の活動の様子（長野県伊那市）



長野県立高遠高等学校 学校林の調査（右端は、校長先生） 中央が院生



高遠高校にて



伊那市高遠藤澤地区のアカマツ天然更新の調査（9月）



アカマツ木炭を利用した畑地の生産力調査（9月）



薬用樹木のクロモジの栽培（9月）



新たな商品（アカマツ茶）の開発検討（9月）